

東海大学医学部基盤診療学系病理診断学では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を
共同研究機関に提供して下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。
当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

ホジキンリンパ腫の免疫組織化学および遺伝子学的研究

【研究の目的】

後方視的にホジキンリンパ腫と、ホジキンリンパ腫と鑑別の難しいリンパ腫を蒐集し、免疫組織化学および遺伝子学的に解析し、その鑑別診断を明らかにする事を目標とする。

【研究の対象となる方】

2006年1月1日から2019年7月31日までの間に、当院及びコンサルテーションとしてMYC, BCL1, BCL2, BCL6 遺伝子の転座を有するB細胞リンパ腫と診断された方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2024年12月31日 まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

- ・試料：病理標本(ホルマリン固定、パラフィン標本)
- ・診療情報等：診断名、年齢、性別、血液検査(LD、IL-2など)画像解析データ(CT、PET など)

【情報の提供先・提供方法】

上記の試料を遺伝子解析のためにバルセロナ大学（スペイン王国）に郵送することがあります。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業からの資金提供はない為利益相反はありません。

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- ・研究代表機関：東海大学医学部基盤診療学系・研究代表者：病理診断学 教授 中村 直哉

【研究分担施設及び各施設の研究責任者】

スペイン王国バルセロナ大学医学部病理学教授 エリアス カンポ

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：3171）

研究責任者 基盤診療学系病理診断学 中村 直哉

問い合わせ担当者 基盤診療学系 佐藤 真美